

24年度 パドラーズトピックスー9

「大曲の花火と秋田の自然を楽しむ企画8月25, 26日」



スギッチファンド震災支援事業として、被災地の方と秋田に避難している方を招待しての第三弾目です。キャンプをし、秋田の自然と大曲の花火を見ながら、参加した方々と大いに語ろうという企画です。みなさん到着後早々中村理事からスケジュールの説明を受けて、各ホテル（テント村）に荷物を置いて、パドラーズの料理長田口理事のもてなしから始まりました。花火の時間までバーベキューやカヌー体験をしながら、フリータイムを楽しみました。



久しぶりの再開で皆さんと積もる話もあり、それぞれ思い思いの自由時間を楽しんでいました。



一緒に参加した北海道の旭川のスポーツデポに今年秋田から転勤になった大内ご夫妻からの秋田のあくらの地ビールの差し入れもあり、大変盛り上がってきています。この日はものすごく暑く、いくら水分を補給しても、すぐにのどが渇き、用意したペットボトルがすぐなくなり、何度となく買い出しに大仙支部長の金山さんと雲雀理事にはご難儀をかけました。



子供さんたちは暑くてたまらないのに、そんな中、後藤理事はご覧のように一人ビールに浸ってご機嫌です。アルコールは汗と一緒に流れて、全然酔わないよ。と言いながら、「もう一本」。でも肝心な花火の時は、栈敷席でイビキをかいて、他の栈敷席からヒンシュクをかっていたようです。でも最後の大会提供花火の時には目を覚まして、しっかり見ていたそうです。さすがですね。俺は2時間でアルコールが抜け、酔いがさめるということ証明していました。



大曲の花火は初めてという
 という気仙沼市鹿折から来た
 渡部さん親子は、今まで
 見てきた花火はなんだった
 んだろうとものすごく感動し、
 来年も是非見に来たい
 と約束をしました。

花火終了後は、夜遅くまで語り合いの場となり、初めての方もお互いの近況や、今後の問題などお互い昔から知



り合いのように、想いを語り、置かれている立場は
 違うけれど、思いは同じで話す言葉一言一言が心を
 打つものがありました。

一夜明けて、キャンプが初めての方も多くいたた
 めに、よく眠れたか気になりました。

避難所で半年もかたい床で寝たことを思えば、テン
 トでの一夜は本当に素晴らしい体験でとても楽しか

ったと言われ、記念写真の顔も何となく晴れ晴れしているように思われました。



朝食後にお楽しみのカヌーです。
 お風呂に入りたい方がいて急遽
 角館温泉で過ごす方と2班に分
 かれて行いました。

玉川の太曲橋から雄物川に出て
 北楯岡までの7kmのカヌーイング

でした。玉川と雄物川の交差点では子供たちも大人も水のきれいな玉川で泳ぎ回っていました。本当にきもちよさ



そうでした。このような体験は気
 仙沼では絶対味合うことが出来な
 い体験で、本当に秋田の自然の素
 晴らしさを、帰ったらPRします
 と言っていました。

温泉班は角館温泉と市内を探索
 しに行ってきました。

土間人というレストランでの
 記念写真です。

そこに張っていた秋田美人の
 ポスターにあんべいいなの文字を
 見つけて「私の名前ね」と指をさす



気仙沼駒場仮設住宅のあんべさんです。彼女も家を流され、観光ガイドとして頑張っています。その後キャンプ地
 に集合して、午後2時ころ楽しい思い出と一緒に一路岐路に向かいました。